

5 国際理解教育・外国語活動・外国語科〔話すこと 聞くこと（やり取り）〕カリキュラム

段階	園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3				
テーマ	英語や外国の文化にふれる	英語や外国の文化に親しむ		英語を使った多様な活動（やりとり、ゲーム、教科書の問題など）に慣れる		学習内容とジェスチャーを活用しながらコミュニケーションしたり発表したりする		今まで身に付けた英語や文化に関する知識を生かして、自分の考えや知り得た情報をまとめ英語で発信する						
目標・活動・学習内容等	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>0歳児～5歳児全員が、ALTと遊びや生活の中で自然に関わり、親しみをもつ。</li> <li>ALTとの関わりの中で英語に興味をもつ。</li> <li>5歳児は簡単なゲームや歌などを通して、外国の文化に触れたり、英語を使って表現したりすることを楽しむ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームや歌、身近な題材、英語の絵本の読み聞かせなどを通して、ア 外国語の音声やリズムに慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>イ ALTとの触れ合いや英語の絵本の読み聞かせ等を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いに気づくことができるようにする。</li> <li>ウ 英語に興味・関心を持ち、英語を用いて楽しく活動できるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくりはっきりと話された際に、ア 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。</li> <li>イ 身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。</li> <li>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくりはっきりと話されれば、ア 自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</li> <li>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</li> <li>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりと話されれば、ア 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</li> <li>イ 日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。</li> <li>ウ 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</li> </ul>				
	話すこと（やり取り）	<ul style="list-style-type: none"> <li>★日常のあいさつや自然、行事などについて、聞いたり話したり、歌ったりする活動（ビンゴゲーム、カードゲーム等）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★子どもたちにとって身近なもの（色や動物、果物や野菜、体の部位等）や行事（七夕やハロウィン、クリスマス等）について、聞いたり話したりする活動（ビンゴゲーム、カードゲーム等）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 基本的な表現を用いてあいさつ、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりできるようにする。</li> <li>イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。</li> <li>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりできるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</li> <li>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</li> <li>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</li> <li>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</li> <li>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</li> </ul>				
山北を題材にした活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語活動の中で教えてもらったことを保育や園外保育の中でつなげていく。</li> <li>絵カードの絵を写真にする（機関車の絵→D52など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の単元に山北町の自然などを取り入れる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合で調べる山北町の祭りやマラソン大会、滝や湖、温泉などの英語表現</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit8 「This is my favorite place.」で、山北の名所を加える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit5 「Where is the post office?」の道案内の地図に山北の店や施設、観光地などを入れ、おすすめをALTで紹介する。</li> <li>Unit7 「Welcome to Japan.」でALTに山北の行事（さくら祭りや丹沢湖花火大会等）を紹介する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit3 「Let's go to Italy」で食べられるものや見られるものなどを紹介する。</li> <li>Unit6 「Let's think about our food.」のオリジナルメニューを考えたときに、山北メニューを考案する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>山北の祭り（流鏝馬、お峰入り、丹沢湖花火）体験や思い出を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人から来た観光客に山北を紹介するプレゼンテーションを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の友人に送る、山北の特産品の紹介を行う。</li> </ul>
形態指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTと学級担任のチーム・ティーチング（TT）で実施</li> <li>ALTに外国籍の園児と関わりを深めてもらうことで、個別支援の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校ALTと学級担任のチーム・ティーチング（TT）で実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校ALTと学級担任のチーム・ティーチング（TT）で実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校英語専科教員と小学校ALTのチーム・ティーチング（TT）で実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校英語科教員と中学校ALTのチーム・ティーチング（TT）で実施</li> </ul>						
町の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>★聞く時間（単語ややり取りなど）をしっかりと確保し、話す時間へと移行する。</li> <li>★児童が楽しみながら英語を聞いたり発せられたりする多様な場を設定する。</li> <li>★授業の流れをパターン化し、児童が見通しをもち、安心して授業に臨めるようにする。</li> </ul>													
 <p>実用英語技能検定受験補助</p>														